

令和7年11月2日(日) 13:15-15:00

第10会場

<テーマ>

## エコー描出力アップ講座 – 日常の曖昧を確信に変える –

<ねらい>

本企画は、日常検査において誰もが経験する「描出があいまいで確信が持てない」という状況を克服し、安定した画像取得を可能とする描出力の向上を目的とする。全体は90分で構成され、前半30分では心エコー・血管エコー・腹部エコーそれぞれの領域における描出の要点や注意点を整理し、臨床現場で直面する課題へのアプローチを講義形式で解説する。続く後半60分では、参加者を小グループに分け、ライブデモとハンズオンを組み合わせた実践的なセッションを行う。ライブデモでは講師による実際の描出操作を間近で観察し、そのポイントや工夫を具体的に学ぶことができる。さらにハンズオンでは、参加者自身がプローブを操作し、その場で講師から直接指導を受けることで、講義で得た知識を即座に技術として体得することが可能となる。講義と実技を融合させることで「理解」と「実践」を一体化させ、明日からの検査業務に直結する描出力の向上を目指す企画である。臨床における曖昧さを確信に変え、検査の質をさらに高める契機となることを期待する。

司会 松林 正人（三重ハートセンター 臨床検査科）

<講演内容>

### 1. 心エコー

「心尖部 view 描出のキホン～曖昧を確信へ～」

演者：宮田 真希（三重大学医学部附属病院 超音波センター）

### 2. 血管エコー

「ちゃんと見てる？全下肢エコーで盲点となる部位の観察方法か」

演者：笹木 優賢（藤田医科大学病院 臨床検査部）

### 3. 腹部エコー

「描出力アップ！脾臓の端から端まで」

演者：小島 祐毅（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 検査部）